



話し合いから
生まれる
福祉のまちづくり

【令和8年度地域福祉委員連絡会】 ※詳細はP 5

- 令和7年度事業報告・・・P 2
- 令和7年度決算報告・・・P 3
- 令和8年度事業計画、収支予算・・・P 4
- 地域福祉委員連絡会、南部町地域福祉研修会・・・P 5
- 支え愛マップ、黄色いタオル・・・P 6
- ボランティア団体紹介「なんぶ^{みまも}り^{たい}隊」・・・P 7

南部町社会福祉協議会



最新情報はここから

本 所：法勝寺331-1

総合福祉センターしあわせ内

0859-66-2900

会見支所：浅井938

総合福祉センターいこい荘内

0859-64-3515

令和7年度 事業報告

人口減少、高齢化、単身世帯の増加等により、地域の暮らしを支える担い手やボランティア活動者等、地域福祉にかかわる人材の減少が課題となっています。

南部町社会福祉協議会は、様々な人々が住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、地域の住民が支え合い、一人ひとりの暮らしと生きがい、そして地域を創っていくことができる「地域共生社会」の実現を目指し事業を展開してまいりました。

令和7年度は、理事、監事の役員及び評議員の同時改選を行いました。引き続き組織の基盤強化と事業運営の透明性の確保を推進してまいりました。

南部町地域福祉推進計画に基づき、各地域振興協議会が設置する福祉推進事務局に関わりながら、各地域の福祉課題を共有し、地域の実情に応じた取り組みを進めていくと同時に、住民自らが主体的に取り組む活動を支援をしました。加えて、定期的に行政及び各地域振興協議会と当該計画の進捗状況を把握し、計画項目を評価する中で、計画が目指す地域づくりに向け様々な取り組みを進めました。

地域で複雑かつ多様化する課題に直面する方々を支える体制を整備し構築するために南部町で実施された「重層的支援体制整備事業」の一部を本会が受託し、町や関係機関と連携しながら地域福祉を推し進めました。特に地域づくり支援を目的に取り組んだ「地域における共助の基盤づくり事業」においては全職員がチームに分かれ、14の基礎集落に出向き、サロン活動や100歳体操の参加者、区長や民生委員、福祉委員等との対話を行い、あるいは「支え愛マップづくり」を通して、地域の文化や特色、住民の思いや生活課題等を共有し、集落の担い手支援とその発掘、育成を図りました。引き続き支え合いの意識を育み、持続可能な集落づくりを推進してまいります。

令和8年正月に発生した地震災害においては、「南部町災害ボランティアセンター」を開設し、町内在住のボランティアを中心に、支援が必要な皆さんへの飲料水の配布や被害相談・支援等の活動を行っていただきました。この経験を通じて、行政、地域振興協議会をはじめ、民生児童委員や地域福祉委員等の関係機関との平時からの緊密な連携の必要性を再確認するとともに、集落、地域における平時からの住民同士の支え合いの仕組みの維持、強化の重要性を実感するところとなりました。

本町の次代を担う小中学生が、福祉施設などの現場で学習する「夏休みボランティア体験事業」は、子どもたちに福祉への関心を持たせ、支え合いの意識の醸成と拡大を目指す福祉学習として、引き続き教育委員会等と連携し、推し進めてまいります。

引き続き、一人でも多くの住民の方々に笑顔が提供できるような事業を展開しながら、本会事業の活動を通じて住民同士の支え合いの機運の醸成と意識の高揚を図り、さらに地域福祉を推進してまいります。



令和 7 年度決算 資金収支計算書

(自) 令和 7 年 4 月 1 日 (至) 令和 8 年 3 月 31 日

(単位：円)

収 入		支 出	
会 費 収 入	3,156,000	人 件 費 支 出	52,621,788
寄 付 金 収 入	1,883,280	事 業 費 支 出	3,881,403
補 助 金 収 入	35,124,330	事 務 費 支 出	8,620,542
受 託 金 収 入	30,150,924	そ の 他 の 支 出	48,907
事 業 収 入	1,861,107	共同募金助成金事業費	1,090,349
受取利息配分金収入	160,320	助 成 金 支 出	4,050,200
そ の 他 の 収 入	1,020,081	負 担 金 支 出	130,000
長期貸付金回収収入	26,750	長 期 貸 付 金 支 出	18,750
		施 設 整 備 等 支 出	3,428,590
収入合計	73,382,792	支出合計	73,890,529

貸借対照表

令和 8 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

会計名	資産の部		負債の部	
一般会計・公益事業特別会計合算	流動資産	78,473,592	流動負債	9,909,974
	現金預金	78,084,829	事業未払金	4,126,972
	未収金	346,307	未払費用	965,370
	前払金	42,456	職員預り金	845,751
			賞与引当金	3,971,881
			負債合計	9,909,974
	固定資産	51,439,091	純資産の部	
	基本財産	2,000,000	基本金	2,000,000
	その他の固定資産	49,439,091	国庫補助金等特別積立金	24,443,606
	土地	3,500,000	国庫補助金等特別積立金	24,443,606
	建物	42,941,399	次期繰越活動増減差額	93,559,103
	車両運搬具	1,784,559	次期繰越活動増減差額	93,559,103
	器具及び備品	1,115,423	(うち当期活動増減差額)	668,760
	ソフトウェア	35,200		
	投資有価証券	1,000		
	長期貸付金	-		
	長期前払費用	61,510	純資産の部合計	120,002,709
	資産の部合計	129,912,683	負債及び純資産の部合計	129,912,683

※令和 7 年度南部町社会福祉協議会事業報告・決算報告については、6 月 18 日開催の令和 8 年度定時評議員会にて審議・承認されました。

令和 8 年度事業計画

〈重点目標〉

- ①地域福祉推進計画の促進
- ②地域における共助の基盤づくり（地域アセスメント）
- ③ボランティアセンター（災害ボランティアセンター）の機能強化

主な実施計画

1 法人運営事業

- (1) 法人組織の基盤づくり
- (2) 社協活動基盤強化への取り組み
- (3) 広報啓発活動の実施

2 地域福祉推進事業

- (1) 地域福祉ネットワーク活動
- (2) 福祉活動促進のための基盤強化と活動支援事業
- (3) いきいきサロン活動支援事業の実施

3 生活相談支援事業

- (1) 総合相談事業の実施
- (2) 各種資金貸付相談の実施
- (3) 成年後見制度の推進
- (4) 生活支援コーディネーター設置事業の実施
- (5) 重層的支援体制整備事業への参加

4 日常生活自立支援事業

- (1) 日常生活自立支援事業の実施

5 生活困窮者自立相談支援事業

- (1) 生活困窮者自立相談支援事業の実施
- (2) 地域における共助の基盤づくり事業の実施

6 ボランティアセンター事業

- (1) 福祉学習関連事業の実施
- (2) ボランティアセンター機能の充実
- (3) 災害ボランティアセンター運営に向けた訓練や研修活動の実施

7 あいのわ銀行運営事業

- (1) あいのわ銀行の運営

8 福祉バス運営事業

- (1) 福祉バスの運営

10 子育て総合支援センター管理運営事業

- (1) 子育て総合支援センター管理運営

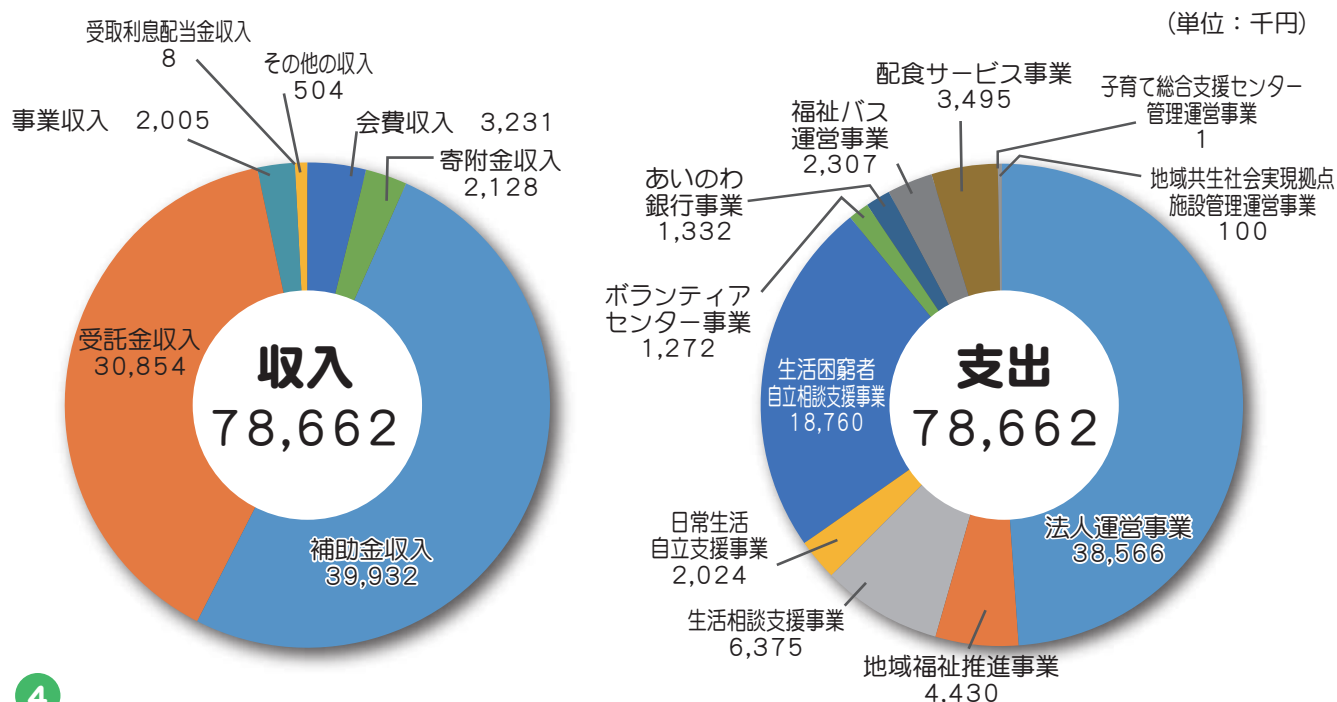
11 地域共生社会実現拠点施設管理運営事業

- (1) 地域共生社会実現拠点施設「いくらの郷」の運営・管理

9 配食サービス事業

- (1) 配食サービスの実施

令和 8 年度収支予算



南部町地域福祉研修会を開催しました

6月5日（金）に富有まんてんホールにて南部町地域福祉研修会を開催しました。南部町社会福祉協議会役職員をはじめ、行政職員、民生委員、地域振興協議会、地域福祉委員、社協評議員の方々など合計80名にご参加いただきました。

当日は、南部町地域福祉推進計画の策定に深く関わっていただいた鳥取大学地域学部竹川教授に「第2期南部町地域福祉推進計画が描く健康で持続可能な共生の地域づくりを考える」という演題で講演していただきました。人口減少というピンチを強い地域をつくっていくというチャンスと捉えていくことなど、社協、住民が元気に福祉に取り組む力を頂きました。



令和8年度 地域福祉委員連絡会を開催しました

5月14日（木）に地域福祉委員連絡会を開催しました。この会では、地域福祉委員の役割についての説明や地域福祉委員と民生委員の顔合わせを兼ねた集落ごとのグループワークを実施しました。どのグループでも活発な話し合いがされ、様々な意見交換を行うことができました。

当日は、参加していただいた皆様と、日頃からの見守り活動の必要性和重要性を共有することができました。ありがとうございました。



地域福祉委員とは？

普段の生活のなかで集落内の見守り活動をしていただく方です。

例えば、ポストに郵便物がたまっていないかな・・・？

最近出会った時の表情が良くないな・・・ 等

なんぶ看護い隊

(なんぶみまもりたい)

～看護の経験を地域の安心へ～

「なんぶ看護い隊」誕生しました！



内田 眞澄

私たちは南部町在住の看護師です。

きっかけは、今年1月6日に発生した地震でした。南部町内では断水が発生し、見守りが必要な方への飲料水の配付やお困りごと相談などの支援活動が行われました。その活動に参加した看護師から、「地域には多くの看護師が暮らしている。この力を、いざという時に発揮できるよう、日頃からつながりをつくっておくことが大切ではないか」という声が上がりました。

そこで南部町在住の看護師へ呼びかけたところ、多くの方に賛同いただき、南部町社会福祉協議会のご支援を受けながら、南部町で13番目のボランティア団体として「なんぶ看護い隊」が誕生しました。

「なんぶ看護い隊」の発足日は5月12日です。この日はナイチンゲールの生誕日であり、「看護の日」でもあります。また、団体名には「見る」と「護る」の思いを込めています。

私たちは、災害時だけでなく、普段から地域を知り、人とつながり、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくりに貢献していきたいと考えています。

地域の皆さまに寄り添い、ともに健やかに過ごしていけることを願っています。どうぞよろしくお願いいたします。

どんな団体？

- 看護師が中心となったボランティア団体です
- 災害発生時における支援活動を行います
- 災害時だけではなく平時からできる範囲で活動していきます
- 看護の経験を地域づくりに生かします
- 地域を知り、人を知り、つながりを育てていきます



はじめの一步は「南部町を知ること」

なんぶ看護い隊では、まず南部町を知ることから活動を始めます。地域の様子や人のつながりを知り、看護職としてどのような支えができるのかを考えていきます。

7月には「大国を知ろう！」と題して、大国地域を訪問する予定です。その後も町内各地区を巡りながら活動を広げていきます。



一緒に活動してくださる仲間を募集しています！

発足したばかりの団体ですので、お気軽に南部町ボランティアセンターまでご連絡ください♪

花一輪の会 ～「小さな親切」運動実行章を受章しました～

小さな親切運動とは、全国規模の民間運動で、鳥取・島根両県では山陰合同銀行地域振興部を事務局とし活動を行っています。

3月31日(火)、ささやかな親切、思いやりある行為を行った方、団体を対象に贈られる「小さな親切」運動実行章の受章式が開催され、「花一輪の会」が受章しました。

同会はとっとり花回廊の開園と同時に発足し、今年で活動28年目を迎えます。会員が花木を同園のトイレに生ける活動を長年続けています。受賞おめでとうございます。



福祉 × 防災

～支え愛マップづくり～

支え愛マップって？

支え愛マップとは、災害時に誰かの手助け・声かけを必要とする人、声かけができる人、避難先など、一連の情報を盛り込んだ地図のことです。支え愛マップはつくることだけが目的ではなく、地域のことを話し合う中で、『日ごろからのつながり・支えあい』を考えてもらうことを大切にしています。



支え愛マップづくりのイメージ図



支え愛マップづくり等を支援する自治会向けの補助金制度があります

促進事業

はじめての支え愛マップづくりや支え愛マップづくりに向けた研修会などを開催する場合に補助

■補助限度額

1 住民組織あたり **5 万円** 以内

■補助金の活用

避難支援の消耗品 等

ステップアップ事業

支え愛マップの見直しや支え愛マップを活用したより実践的な訓練などを実施する場合に補助

■補助限度額

1 住民組織あたり **10 万円** 以内

■補助金の活用

避難所の備品等

「うちの家族は大丈夫！」 無事ですタオル作戦



**無事ですタオルを玄関先に掲げて、
無事であることを伝えます**



誰でも豪雨や地震などで被災はしたくないものです。でも本当に災害が差し迫った場合は、早めに避難し無事に過ごしたいものです。

もし安否確認したくても連絡が取れない場合、1軒1軒確認をする場合があるかもしれません。

災害時の生存確認は一刻を争う時間との戦いになります。
このタオルで無事であることをすぐに伝えることができます。



詳しくは南部町社会福祉協議会（電話：66-2900）までお問合せください。

ご寄付ありがとうございました



(令和8年2月1日～令和8年5月31日受領分を受付順に掲載)

皆様からのご厚志に対して、心より厚くお礼申し上げます。頂戴しました寄付金は、地域福祉委員の活動費・いきいきサロン活動助成金・福祉バス運営経費・配食サービス事業などの福祉活動の財源として活用させていただきます。

香典返し

(敬称略)

寄付者名	集落名	故人名	金額(円)
梅原 裕子	金田	梅原 琢也	金一封
勝田 睦子	東西町2区	勝田 昭	金一封
六宮 貴之	三崎	六宮 千寿	金一封
恩澤 敦美	下阿賀	恩澤 貞子	金一封
舟木 貴仁	下阿賀	舟木 和枝	金一封
赤井 講弘	諸木	赤井 博子	金一封
井塚 廣美	金田	井塚 静枝	金一封
伊藤 静也	天萬2番組	伊藤 昌美	金一封
秦 節章	驛牛	秦 秀治	金一封
陶山 正己	北方	陶山 美貴子	金一封
前田 輝美	口絹屋	前田 千枝子	金一封
池田 幸弘	井上	池田 和雄	金一封
山岡 永子	奥絹屋	山岡 幹典	金一封
増田 伸一	福頼	増田 薫	金一封
内田 彰	下鴨部	内田 一夫	金一封

寄付者名	集落名	故人名	金額(円)
生田 章	柏尾	生田 貴恵子	金一封
高橋 健二	下阿賀	高橋 けい子	金一封
松永 綾子	東西町4区	松永 澄男	金一封
高倉 一郎	東西町1区	高倉 民夫	金一封
三嶋 千寿	宮前一	三嶋 静枝	金一封
市川 健人	天萬7番組	市川 愛子	金一封
影本 純	奥絹屋	影本 宮子	金一封
潮 美樹	天萬1番組	潮 進	金一封
種田 延和	倭	種田 富子	金一封
山田 誠	三崎	山田 秋江	金一封
須山 尚紀	上阿賀	須山 賢郎	金一封

◎ご寄付の際に広報紙への掲載を同意された方を載せています。
◎寄付金額等の記載につきましては、寄付者ご本人の意思によるものです。
◎本会へのご寄付は確定申告を行うことで所得控除の対象となります。

～ご寄付受付窓口のご案内～

場所：本所（法勝寺331-1）
会見支所（浅井938）
時間：8：30～17：15（土日祝休み）

新職員紹介

南部町の福祉の向上に貢献できるよう誠心誠意努めてまいります。よろしくお願いいたします。



福祉活動専門員

吉岡 朋子

令和8年4月1日採用

『水分補給』

編集後記

老人クラブの料理教室に参加して、指導の管理栄養士さんから高齢者の水分摂取の大切さについて講話がありました。

朝目覚めた時、3回の食事、間食2回、入浴後、寝る前で一日に最低8回は水分を取らないと健康に生きられないとお話でした。

昔、学校の部活動で練習中は「水飲み禁止ルール」があった事を思い出します。理由は水を飲むとバテる事、欲しいものを我慢することで根性がつく事が狙いだったのではないのでしょうか？

チームの連帯性を持たせるため、誰かがこのルールを破ると全員でグラウンド10周走る厳しい罰がある部もあったようです。

そんな中で不思議なことに、脱水症や熱中症で倒れる人は周りにいなかったと思います。今より平均気温も低く、真夏日も少ない時代でしたが、現在の科学では考えられない様な話です。

時代は変わり、今では熱中症が大きくクローズアップされている時代となっています。

特に高齢になると脱水状態になるリスクも高く命に係わる事も起こりますので、季節に関係なくコマメな水分補給の習慣を身につける事が大切ではないでしょうか。

〈K・N〉

